

## 小野式携帯型滑り試験機(O-P・PSM)

親水施設において生物付着による滑りの状態を数値化させるため、屋外で使用可能な滑り試験機(形式番号O-P・PSM)です。

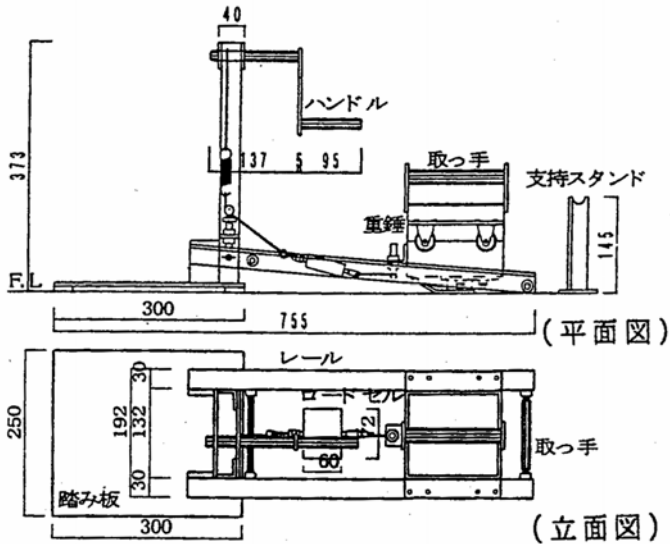


図-1 滑り試験機の概要

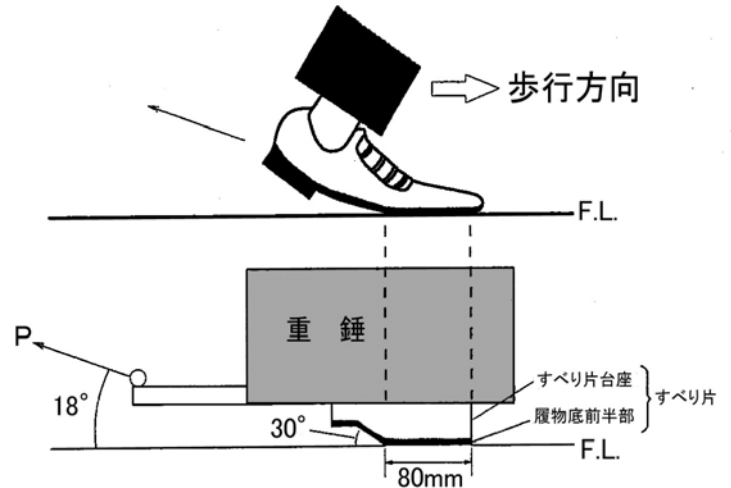


図-2 歩行動作の模式化  
(C.S.R.測定の原理)

滑り試験機(O-P・PSM)は東北工業大学小野英哲研究室で平成15年度に開発された、屋外で使用可能な携帯型の滑り試験機です(図-1)。人の歩行開始時に蹴り出す状況(図-2)を機構として取り込んでいます。(昭和59年度に同研究室で開発されたO-Y・PSM(原機)の携帯版)<sup>1)</sup>

滑り試験機により出力される数値はC.S.R.(滑り抵抗係数)値と呼ばれ、実際の人の歩行動作に伴う“滑り”を最も適切に表現できる評価指標として考えられています。<sup>2)</sup>(C.S.R.値の範囲は0.0~1.0で、値が小さいほど滑りやすく、大きいほど滑りにくい。)

※建築分野ではC.S.R値が0.4以下の場合、“滑りやすくて危険”と評価しています。<sup>3)</sup>

### 参考文献

- 1) 小野英哲(2004):携帯型床のすべり試験機(ONO・PPSM)の開発,日本建築学会構造系論文報告集,第585号,pp.51-56.
- 2) 小田勝也・上田倫大・亀山豊・小宮山 隆・岸 昌裕・内山一郎(2004):海岸施設における利用者のすべりに関する評価方法とすべり対策に関する研究,海岸工学論文集,第51巻,pp.1251-1255.
- 3) NHK総合クロスアップ現代より

※詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

